

2006年 PABF ユース選手権 6月4日開幕

日本代表2チーム参加!

第44回PABF (Pacific Asia Bridge Federation パシフィックアジアブリッジ連合) ユース選手権が6月4日から7日までの4日間、9カ国が参加してタイのバンコクで開催されます。

同選手権は今回から21歳以下の「スクール」部門を新設、「ジュニア(26歳以下)」と「スクール」の2部門でパシフィックアジア地域ナンバー1の座、そして8月の世界選手権出場枠獲得をかけて熱戦が繰り広げられます。昨年、韓国・ソウルで行われた第43回PABF選手権で優勝に輝いた日本は「ジュニア」、「スクール」両部門に参加、中国、香港、インドネシアなどの強豪国と肩を並べての健闘が期待されます。

昨年の優勝メンバーが3名参加しているジュニア・チーム、そしてブリッジを始めてまだ日の浅い、フレッシュなスクール・チーム各メンバーをご紹介します。熱い応援を宜しくお願いします。

《ジュニア・チーム》26歳以下の部(生年月日:1980年1月1日以降)

国際試合の経験			
1.	稲垣 献(25歳)	東京大学卒	2002PABF バンコク
2.	牲川 健志(24歳)	大阪大学卒	香港インターシティー、2005PABF 韓国、2005世界ユース選手権
3.	池本 裕一(24歳)	学習院大学	香港インターシティー、2005PABF 韓国、2005世界ユース選手権、Bank Indonesia Cup
4.	今井 智士(22歳)	大阪大学	香港インターシティー
5.	横井 大樹(21歳)	東北大学	香港インターシティー(2回)、2005PABF 韓国、2005世界ユース選手権、Bank Indonesia Cup
6.	三浦 裕明(20歳)	東京外国語大学	香港インターシティー

《スクール・チーム》21歳以下の部(生年月日:1985年1月1日以降)

国際試合の経験			
1.	堀田 翔(20歳)	東北大学	香港インターシティー
2.	中村 和宏(19歳)	東北大学	
3.	後藤田 俊輔(19歳)	学習院大学	
4.	中館 龍(19歳)	早稲田大学	香港インターシティー
5.	岡本 崇宏(19歳)	大阪大学	

両チームのNPC(ノン・プレイング・キャプテン=監督兼コーチ)を勤めるのは、JCBLユース担当理事であり、強化プログラムを指導している寺本直志氏。同氏は、スクール・チームについて次のように語っています。

『昨年12月末の1次選考会時点では、まだまだと評価していましたが、ここ数ヶ月の進歩は目を見張るものがあります。目標と強化活動を機会にやる気が高まり、学習効率も大幅に上がり、良い感じになってきました。香港、台湾、インドネシアの代表はキャリアが有りそうで厳しい戦いになると予測していますが、これらの相手との対戦は、技術面でも、精神面でも必ず良い経験となって彼らの将来につながると確信しています。』

ジュニア部門参加国

オーストラリア、中国、台湾、香港、インドネシア、フィリピン、シンガポール、日本、タイ(計9カ国)

ガンバレ ニッポン!

スクール部門参加国

中国、台湾、香港、インドネシア、シンガポール、日本、タイ(計7カ国)